

第 54 回ドライコーティング研究会 報告書

一般財団法人 近畿高エネルギー加工技術研究所 (AMPI)

日時 2018 年 11 月 30 日 (金) 13:30 ~ 16:30
会場 尼崎リサーチ・インキュベーション・センター
(ARIC) 2 階 会議室 1~3
参加 29 名
内容



1. 開会あいさつ

ドライコーティング研究会
AMPI 専務理事 島田浩一郎 氏

2. 講演

(1) プラズマ CVD を用いた機能性アモルファスカーボン薄膜の開発

山口大学大学院 創成科学研究科 教授 本多謙介 氏

プラズマ CVD 合成によるアモルファスカーボンの成膜技術、導電性アモルファスカーボンの特性と電気化学分野における応用、シリコン添加アモルファスカーボンの作成と電子デバイスへの応用、プラズマ合成によるアモルファスカーボンナノ粒子の合成について紹介があった。

(2) GD-OES を用いた表面及び深さ方向の最新分析事例

株式会社堀場製作所 営業本部 大阪セールスオフィス 川下俊幸 氏

各種表面及び深さ方向に対応した分析装置のニーズと特長について紹介があった。その中で GD-OES について、原理、他の分析手法との結果比較、最新のアプリケーションなどについて紹介があった。更に、深さ方向の分析ツールとして、ラマンやエリプソなどをを用いた評価や分析例の紹介があった。

(3) AMPI のレーザ粉体肉盛技術についてのご紹介

AMPI ものづくり支援センター 研究開発部 主任 得能敏郎 氏

兵庫県のひょうご次世代産業高度化プロジェクトの一つとして、AMPI が実施しているレーザ加工技術高度化事業について紹介があった。特に、その中で注力しているレーザ粉体肉盛 (LMD : Laser Metal Deposition) について、ロボットシステム装置とその性能、肉盛の実施例などについて紹介があった。